



四季報

はるか

2015. 7月 No.114



大洲ホーム周辺を吟行



屋外リハビリ運動場での句会

春の吟行^{さんこう}

生活支援員 新 公子

春の俳句勉強会は谷本一善先生のご指導
で屋外リハビリ運動場で行われました。

大洲ホーム周辺は花の主役がソメイヨシノ
からフジ ハナミズキ 山つつじなどに代り、
正に春らんまん…小鳥のさえずり、川のせ
せらぎも心地よくゆったりと吟行しました。
鳥の声遠き近くに山笑う

平高 浩二

春先の道を押されし車椅子

植田 勝芳

俳句教室は故好崎馨水先生のご指導で始ま
り、二十二年の長きに渡り続いています。
その間、句集発刊や愛媛新聞への掲載など
で力を付け個性豊かな作品が四季報はるか
の紙面を埋めるようになりました。

新任ご挨拶

生活支援マネージャー

須内由美子



このたびの人事異動で生活支援マネージャーを務めることになりました。

初めての責務で不安なこともあります、すばらしいスタッフと一緒にご利用者の安心と穏やかな笑顔のたえない施設作りを目指して参ります。

また医務室で看護師として勤務した10年の経験を生かして、健康相談も充実させていきたいと思っています。ご利用者の皆さん、そしてご家族の皆様、どうぞよろしくお願い致します。

お花見会

機能訓練指導員 島田洋子

調理員さん自慢のお花見弁当のできあがりです。

手作りの巻きずし、からあげ、桜もち、厨房手作りの献立表を見ながらの食事です。



メッセージつきのお花見弁当



多目的ホールでのお花見会

ソメイヨシノは雨で散り、寒の戻りで肌寒く、外での食事は中止となりましたが、八重桜を窓越しに見ながらの花見会となりました。窓越しに桜の花の今盛り
今回は自治会によるお酒の販売も企画され、一杯飲みながらの食事会となりました。

西念寺の花祭り

看護師 玉田寿幸

花祭りはお釈迦様の生まれた日です。

西念寺さんの花御堂には釈迦像が花々で美しく飾りつけられていました。

この日を心待ちにしていた利用者は、西念寺にお参りして甘茶をいただくのが慣例になっています。



於 西念寺さん

お寺に着くと住職婦人に接待されて、利用者は像にひしゃくで甘茶を注いで手を合わせてお祈りました。

花祭り甘茶をかけて

お参りし

甘茶をいただくが無病息災でいられると言われます。

大洲ホームの笑顔に再会

三恵ホーム 武田公恵

思わず立ち止まって深呼吸したくなるような新緑が美しい大洲ホームさん。

利用者の個別外出で大洲観光に出掛けた私達の突然の訪問にもかかわらず、笑顔一杯で出迎えて頂きました。



三恵ホームとの交流

利用者の池田さんとの再開に笑顔がこぼれました。笑ったら笑って返す

いい仲間

よい笑顔は凍てついたものを解き、閉じたものを開き人々の心の中に新しく生きる力を与えてくれます。

..... 家族会 便り

4月
19日

家族会 総会

生活支援マネージャー 須内由美子

平成27年度の家族会総会が開催され、22家族26名が参加されました。

会に先立ち新入職員の紹介があり、総会次第では事業報告、決算報告に続いてミニ運動会、春賀の里祭りクリスマス会等の事業計画が承認されました。

懸案のショッピング介助は、家族会の随時参加が決まり喜んでいきます。

今後も家族会との繋がりを密にして、より多くの方々にご参加頂けるようにしたいと思えます。



家族会総会

3月
22日

家族の日

副施設長 上満依智子

毎月第3日曜日は家族の日として、利用者とのスキンシップや自治会との交流を密にしています。

家族会の活動は、大洲ホームの伝統行事として定着し、途絶えることなく継続されて自慢の後援団体となっています。今日はシーツたたみと車椅子の清掃をして頂きました。



シーツたたみ

お茶の時間には、次年度の事業計画が検討され、利用者との散歩や季節毎の衣類の入替等を協力して頂くことになりました。

日帰り遠足

利用者代表 平高浩二

自治会と家族会の日帰り遠足で道後温泉周辺散策をしました。

利用者家族、職員、ボランティア総勢35名が大型バスを借り切つて大洲ホームを出発！車窓からは新緑の山々や初夏の陽光に輝く松山市街を見物！

昼食は道後公園の木陰でお弁当を食べました。

からくりの坊ちゃん

マドンナ初夏の昼

食事の後は坊ちゃん・マドンナのカラクリ時計や坊ちゃん電車、道後温泉本館周辺を散策し、あれこれと土産物の買い物を楽しみました。



5月
17日

於 道後公園

全国かまぼこ板の絵展

生活支援員 大西愛美

第21回全国かまぼこ板の絵展覧会の作品募集があり今年は「裏りの秋」をテーマに利用者有志が2ヶ月を掛けて作品作りをしました。



39枚のかまぼこ板を張り板にして制作しました。

稲穂は指に絵具を付けて丁寧に色ぬりをしました。

かまぼこ板一枚づつに

あるドラマ

大洲ホームの出展は連続18回目になりますが「いつでもなんでも描ける」楽しさを体験しながら出展を続けています。

入賞発表は6月。審査員はタレントの車だん吉さんなどが選任されています。

スタートしています!!

あけはま 明浜の母を見舞つ

生活支援マネージャー

須内由美子

河野光夫さんが介護タクシーのふれあいサービスを利用して明浜町のお母さんのお見舞に行かれました。

お母さんとの再会は久しぶりで、おみやげに好物のアンパンを買って数日前から楽しみにしておられました。

退院されたばかりのお母さんは、お元気そうで親子の会話も弾みました。



明浜のお母さんを訪ねて…

「元氣そうで安心した」「アンパンも食べてもろた うれしかった」と満足そうでした。

4月15日 親孝行

生活支援員

井伊あゆ美

稲田貞さんがコスモスボランティアを利用して皆楽園のお母様を訪ねられました。皆楽園では弟さんご夫婦と待ち合わせをして、親子揃っての団らんを楽しみました。



家族そろってハイチーズ!

約1年ぶりの再会だったそうとても嬉しそうなお顔をされていました。

稲田さんは縫製工場で働いておられました。が歩行困難な肢体不自由者となり、平成9年に大洲ホームに入所されました。

サッカー観戦

利用者 富 永 健

ゴー—ール。試合開始早々に愛媛F C 西田選手が今期初得点です。

3月15日に愛媛F Cのホーム開幕戦を応援にニンジニアスタジアムに行きました。

前半は、26分に河原選手が追加点を入れ2 - 0で終了。ハーフタイムの間にカラアゲを買って食べました。試合は後半に1点を返され猛攻撃を受けましたが、何とかしのいで2 - 1で勝ちました。

当日は、雨模様でしたが、熱戦を応援できてとても楽しかったです。

井上良一さん、尾崎則夫さんも大の愛媛F Cファンで応援しておられます。



レインコートを着込んで応援しました。

4月23日 自由外出

コスモスボランティア 山下 友美

高田栄作さんがコスモスボランティアを利用して、宇和方面へ自由外出されました。

どんぶり館でうどんを食べたり、歴史博物館を見学して陽春の午後を散策されました。

櫻散る行く場所かえて歴史みる

高田栄作

高田さんは俳句作りがお上手で、俳句教室では先生から賞賛されたり、新聞にも掲載されて、独創性のある自分らしい俳句作りをされています。



於 歴史博物館

自由外出をサポート

4月
4日

法事の帰省



法事の里帰り

利用者 高平セツ子

母の法事で愛南町の実家へ里帰りしました。

介護タクシーで帰り、道路が直り、桜が咲き、とてもきれいでした。

8時半に大洲ホームを出発して10時過ぎに無事に着きました。

急いで用事をしてもらい、和尚様おしょうさまが来られるのをみんなで待ちました。

いざ始まってみんながシーンとなり、母の3回忌の法事が始まりました。子供達も良い子にして、小さな手を合わせていました。

お父さんの13回忌とお母さんの3回忌、久しぶりになつかしい顔にホッとしました。

彼岸会ひがんえに父母と語らふ墓参り

東さんのショッピング

大洲ホームの第1番目の入所者は東一郎さんでした。

秋晴れや第一番の入所者に

さわやかな一句を贈って下さいました。



ご家族とのショッピング

あれから24年！温かい家族愛と職員に見守られて、大洲ホームに馴染なじんで頂きました。

日中活動では将棋、ワープロ、俳句など多彩な趣味を生かして、意欲的に取り組んでおられます。

庭先にツツジカーテン咲き乱れ

東 一郎

今日は久しぶりにご家族とショッピングを楽しまれました。



6月
14日

最後に参加者全員で万歳三唱をさ
れ来年も又元気で会おうと言われて
ました。

最後に参加者全員で万歳三唱をさ
れ来年も又元気で会おうと言われて
ました。

最後に参加者全員で万歳三唱をさ
れ来年も又元気で会おうと言われて
ました。

最後に参加者全員で万歳三唱をさ
れ来年も又元気で会おうと言われて
ました。

最後に参加者全員で万歳三唱をさ
れ来年も又元気で会おうと言われて
ました。

ふれあいサービス 後藤 正一

松山盲学校同窓会に出席

有料ボランティアを募集しています!!

大洲ホーム自治会が企画する遠足とショッピング介助のボランティア募集を市内の高校等と呼びかけています。

記

〔遠 足〕

日 時 9月20日(日) 10:00~16:00分

場 所 道後温泉周辺散策



〔ショッピング〕

日 時 8月26日(水) 10:00~13:30分

9月29日(火) 現地集合

10月27日(火) 現地解散

場 所 アクトピア・オズメッセ

内 容 車イスを押す介助や買い物等のお手伝い

謝 礼 交通費2,000円+食事代



《お問い合わせ先》

大洲ホーム自治会 「ひじかわ」

TEL 26-1216(担当樋口)

県障害者スポーツ大会

利用者代表 大 澤 亮

利用者7名が参加



第10回県障害者スポーツ大会がニンジニアスタジアムで開催され、知的・身体に障害のある約1900人が陸上、卓球など25種目で生き生きとプレーしました。

スラロームで活躍した大澤君



大洲ホームからは利用者7名が出場し、6名がメダルを獲得するなど大活躍しました。
金メダル(スラローム走) 大澤 亮
銀メダル(100メートル走) 山田 保
銀メダル(ビーンバック投) 富永 健
銅メダル(フライングディスクアキュラシー5m) 寺田聖子
銅メダル(ソフトボール投) 河野光夫
銅メダル(50メートル走) 浦山英児

利用者作品集

大洲ホーム文芸

春の息吹を感じるときから、初夏にかけての情景を切り取って、季節感を表現しました。
俳句は沢山読んで沢山捨てるのが上達の秘訣だと言われます。



谷本先生の俳句教室

春雨に傘の触れ合う椿さん

作 平高浩二

先がけて見せてくれるは寒椿

作 植田勝芳

再会を約束して花見かな

作 土井富喜

花見客ほろよい元氣黒田節

作 山本松義

こちよいい日差し暖か花祭り

作 泉美代子

新聞でかぶとを作る子供の日

作 高田栄作

幼き日母の思い出よもぎ餅

作 池田有子

日を受けてひとときわ映える柿若葉

作 植田勝芳

七色の光る紫陽花朝日かな

作 岩下菊枝

◆◆◆◆ 芸能ボランティア ◆◆◆◆

大正琴で演奏訪問

川下会 上田 芳加

今年も、五月のさわやかな日に、大洲ホームへ大正琴の音色を届けに訪問しました。

昔懐かしい演歌を聞いていただき、童謡を大正琴の伴奏に合わせて歌いながら、体でリズムを取っていただき、最後に全員で合唱を致しました。

45分間という短い時間でしたが、入所者の皆さん、職員の方、私達が、大正琴での、音楽の世界で楽しいひとときを共有出来た事を、とても嬉しく思っています。今後も昔の事を思い出し、元気を出していただけるような曲を選び、皆様とのつながりが深まる事を大切にしながら、活動が続けようと思っています。



大正琴コンサート

ブランケット ミニコンサート

4月
25日

生活支援員 清水 博美

汗ばむくらいの日差しの中、ブランケットのお二人に来園していただき澄みわたるきれいな歌声とピアノ演奏でのミニコンサートを楽しむことができました。



ボーカル 池田加志子 様
ピアノ 西山千春 様

今回は、春にちなんだ童謡特集で始まり、お楽しみとして、大きなしゃぼん玉をたくさんとばしながら全員で「しゃぼん玉」の歌をうたいました。サブライズな演出に、利用者も大変喜ばれ、その後続いた懐かしい演歌等一緒に歌ったり手拍子したりととても盛り上がった楽しいひとときを過ごすことができました。

ミニミニコタイム

渦尻 孝子

毎月第2木曜日午後2時よりホールに於て「ミニミニコタイム」喫茶店もどきが行われます。そのお手伝いに、立正佼成会の皆様がかけて下さいます。(平成7年より)

最初は大洲、内子方面の方達でしたが最近では、宇和島・津島・松野の方達も参加して頂き広域にわたってのお手伝い、利用者職員みんなで感謝をしています。コーヒのいい香りにさわれ、利用者はジュース、ケーキ、たこ焼き等に舌つづみ、その後は「カラオケ」をし、いい気分の一時を過ごしています。皆様のやさしいお心を頂きながら楽しく続いています。



立正佼成会ボランティア

コンサートのご招待

生活支援員 富永 さやか

大洲ふじかけコーラス(団長白石美子)の第20回春のコンサートが大洲市民会館で開催され、利用者有志と参加しました。



ふじかけコーラス団長白石さんに花束贈呈

オープニングは「どこかで春が」を全員で合唱しました。各種団体の演奏やコーラスも沢山聞けてハッピーでした。エンディングは「さようなら」を全員で合唱し、地域の方々との絆の輪を広げました。

ふじかけコーラスさんは大洲ホームのクリスマス会には歌声ボランティアとして、毎年特別出演して下さい20年近い交流があります。

勉強会いろいろ

喀痰吸引研修

生活支援員 宗金清一



昨年の八月から今年の一月まで、愛媛県長寿介護課による喀痰吸引等の研修が砥部で行われました。50時間の講義と筆記試験を終へ、川内にある三恵ホームでの実地研修を行いました。

そこでは、初めてお会いする職員の方、御利用者の方で、常時吸引が必要な方を実際に吸引や経管栄養をさせて頂きました。口腔、鼻腔吸引を行ないながら、利用者の状態を観察し、看護師に報告をしました。それぞれ、20回行い自信ができました。

この研修を終了した事で、介護職員でも吸引や経管栄養の医療行為が出来るようになります。御利用者が自分らしく生きていく様、我々もお手伝いしていきます。

接遇・マナー研修会

生活支援員 小谷 遥

外部講師の藤枝絹子先生をお招きして、挨拶、座ぶとんお茶のいただき方などを教わりました。

お話の中で礼儀作法の「礼」は人と人がお互いに尊敬し、それに対して感謝の心が自然と「おじぎ」になると説かれました。

藤枝先生の接遇訓練



私達が日頃やっている利用者さんへの対応が正しかったかどうかを見直し、反省する事ができました。

今後は、学んだことを意識して、表情や動作に気をくばり、利用者の皆さんに喜んでもらえるように心掛けたいと思います。

新任職員研修

生活支援員 平井 秀樹

大洲ホームでは新任職員研修に力を入れています。内容としては入社してから6ヶ月間かけて様々な研修を行います。感染症に関する知識や医療的な研修、実際に介護現場で働くために必要な知識や技術を現場の職員が講師となり新任職員に伝えています。

また、若い職員の体験談なども当事者がリアルに伝えることで介護現場に入る心構えをしっかりと持ってもらったり、現場で悩んだ時に「自分だけがこんな経験をしているのではない」と心にゆとりを持つことができるようにしています。

新人研修会



薬の一包化を推進

生活支援員 清水 博美



大洲ホームでは、医薬分業に伴い薬の一包化を進めてきましたが、81%まで改善が進み大幅な作業の効率化が具体化しました。

まず、①看護師が長時間を掛けてやっていた薬の仕分け作業が軽減され②服薬介助も各種の薬を開ける時間が短縮されました。

また懸案事項だった誤薬や薬の飲み忘れ等による不注意も減少しました。

薬の一包化とは、複数の病院で処方された複数の薬や多種類の複数の薬を調剤薬局で一包の薬にまとめることです。

第3者苦情処理委員会

サービス管理責任者 樋口圭介

第31回第3者苦情処理委員会を開催しました。

城戸良一様（地域代表）

松田千寿様（栗津小校長）

委員会は年2回開催され、三善会グループ7事業所の苦情対応やヒヤリハット（ヒヤツとした事、ハツとした事）の事例検証が行われ客観的な視点での御助言を頂きました。

頂いた御助言は真摯に受け止めて、よりよいサービス提供に繋げて参ります。

第3者苦情処理委員会



カーブミラー清掃

生活支援員 佐野華織

毎年恒例のカーブミラー清掃奉仕を職員有志と利用者で行い、30ヶ所あまりのカーブミラーをきれいに磨きました。

カーブミラー清掃奉仕



清掃中に地域の方から「ご苦労さんです」と声を掛けられ、はげみになりました。

車にも乗せようマナーと思いやり

カーブミラーがこんなに沢山あるとは知りませんでした。



利用者を交えてのあいしよく委員会

あいしよく委員会は利用者代表と栄養士、調理員、生活支援員を交えて行う食事に関する意見交換会です。

普段気付かないこともあり、みなさんのなまの声が聞ける貴重な時間です。話し合った意見をもとに日頃の献立に取り入れていき、利用者さんの楽しみな食事となるようにしていきたいと思っています。

あいしよく委員会では、定期的

あいしよく委員会

栄養士 島田洋子

新職員紹介



大洲ホーム 佐野華織

この度、大洲ホームに配属になりました。まだまだ介護に関しての知識や技術は未熟ですが、少しでも早く仕事を覚えて、利用者の方に頼れる存在になりたいです。



大洲ホーム 大野将寛

高卒で大洲ホームの生活支援員として春から働かせていただいています。社会人としての自覚を持ち何事も全力で取り組んでいこうと思っています。



大洲ホーム 新光樹

これから資格を取得して頑張ります。よろしく願います。



デイサービスセンター 春賀

平成25年に介護福祉士登録。ピアノ・アルトサックスが演奏でき、人と接したり話すことが好きです。

社会福祉法人 三善会 会計報告

第 104 回理事会並びに第 44 回評議員会が開催され平成 26 年度事業報告と収支決算について審議して頂き承認されましたので掲載いたします。なお、事業報告書等については平成 27 年 10 月 31 日迄の平日（9 時～17 時）に閲覧できますので窓口までお申し出下さい。

平成26年度資金収支計算書

(単位：円)

勘 定 科 目		金 額
経常活動 による 収支	経 常 収 入	556,263,618
	経 常 支 出	455,279,155
	経常活動資金収支差額	100,984,463
施設整備 等による 収支	施 設 整 備 等 収 入	10,768,000
	施 設 整 備 等 支 出	13,195,490
	施設整備等資金収支差額	△ 2,427,490
財務活動 による 収支	財 務 収 入	1,416,316
	財 務 支 出	2,946,270
	財務活動資金収支差額	△ 1,529,954
予 備 費		0
当 期 資 金 収 支 差 額 合 計		97,027,019
前 期 末 支 払 資 金 残 高		942,672,840
当 期 末 支 払 資 金 残 高		1,039,699,859

平成26年度事業活動収支計算書

(単位：円)

勘 定 科 目		金 額
事業活動 収支の部	事 業 活 動 収 入	556,253,139
	事 業 活 動 支 出	477,155,390
	事業活動収支差額	79,097,749
事業活動 外収支の 部	事 業 活 動 外 収 入	20,122,845
	事 業 活 動 外 支 出	16,967,500
	事業活動外収支差額	3,155,345
経 常 収 支 差 額		82,253,094
特別収支 の部	特 別 収 入	2,974,784
	特 別 支 出	8,213,762
	特別収支差額	△ 5,238,978
当 期 活 動 収 支 差 額		77,014,116
繰越活動 収支差額 の部	前期繰越活動収支差額	1,150,628,547
	当期末繰越活動収支差額	1,227,642,663
	その他の積立金取崩額	0
	次期繰越活動収支差額	1,227,642,663

貸 借 対 照 表

平成 27 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,061,010,256	流 動 負 債	21,310,397
固 定 資 産	526,289,463	固 定 負 債	23,320,278
		負 債 の 部 合 計	44,630,675
		純 資 産 の 部	
		基 本 金	97,456,000
		国庫補助金等特別積立金	179,770,381
		そ の 他 の 積 立 金	37,800,000
		次期繰越活動収支差額	1,227,642,663
		純 資 産 の 部 合 計	1,542,669,044
資 産 の 部 合 計	1,587,299,719	負債及び純資産の部合計	1,587,299,719

◇ 福 利 厚 生 ◇

3B体操で腰痛予防

事務課長 藤 原 誠 人

介護職の問題の一つとして腰痛が挙げられます。当法人の衛生委員会で腰痛に対するアンケートを実施し



腰痛予防体操

たところ職員の中から腰痛体操等の要望がありました。今までにも腰痛対策として福祉機器の導入など行ってきましたが、今回、月に3回外部講師に依頼し3B体操を始めました。3B体操とは、手具を使って音楽に合わせながら体を動かし仲間同士で楽しみながら心身をリフレッシュできる健康体操で、実施後の職員からはとても好評でした。

この取り組みで少しでも腰痛等の問題が改善され安心して働ける職場になればと思っています。

3月25日 健診車による健康診断

看護師 須内由美子

健診センターの大型車が大洲ホームに横付けされて、利用者49名と職員116名の都合165名が健康診断を受診しました。

今回は利用者は血液検査を行い、職員は身体計測・血圧・視力・聴力・血液検査・検尿・検便・心電図・胸部レントゲンを行いました。

検査結果は後日になりますが、各自が健康状態を把握して、万全の状態で仕事に取り組んでいきたいと思います。



健康診断状況

企業説明会に参加

生活支援員 鎌 田 梨 江

地元企業4社が大洲農業高等学校で企業説明会を開催しました。

この取り組みは、学生さん達の地元企業への理解や職業意識形成支援を目的として行われています。

ビデオを使って説明しました。



今回は介護現場を代表して、当法人の特徴や職場環境、障害者支援施設の、あるがままをパソコンを使って紹介しました。生徒さん達は、これからの就職活動に備えて真剣に聞いて下さいました。

ハローワークの談話では「学生から今後の就職活動の参考になった。」との評でした。

お 知 ら せ

施設入所要綱の改正

サービス管理責任者 樋 口 圭 介

障がい者支援施設に空床が出た場合の対応に就いて、入所要綱の改正がありました。

記

改正前	改正後
●在宅障がい者への連絡相談は、行政機関が行っていた。 ●入所待機者の順番表に、利用者の情報が無かった。	●平成27年度から障がい者支援施設から、直接連絡がとれるように改正された。 ●年1回は行政機関から入所待機者の近況が通知されるようになった。 以上

デイサービスセンター 春賀便り

新任ご挨拶

所長 上満佐智子

このたびデイサービスセンター春賀所長として赴任しました。

デイサービスの仕事は初めての毎日がとても新鮮です。私の目標は

- ・ご利用者の目線に立つて朝夕、お一人お一人に挨拶する。
- ・一日一回笑顔に！「心も体も笑顔で健康づくり」
- ・一期一会のおもてなしサービスを心掛けます。

私達は利用者の皆さんが住み慣れた場所、人の中で自分らしく暮らして頂けるように、しっかりとその役割を果たして参ります。

今後とも変わらないご支援とご指導宜しくお願い致します。



くもん学習の勉強会

介護員 山口利子

デイサービス春賀では「くもん」学習を継続しています。利用者さんへの挨拶から始まり体調をお伺いしながらスラスラと出来る読み書き、計算プリントが各三枚あります。大きい活字で読みやすくなっています。その後数字盤を置き声を出して行うという1日に20分から30分の学習をアドバイスしながら取り組んでいます。利用者さんとのコミュニケーションを取り言葉を選びながらその日、その日の生き生きされていることを一緒に喜び、褒め、いち協力者として認め続け脳への活性化につなげたいと新たな気持ちになりました。



5月19日 デイの勉強会

所長 上満佐智子

仕事を終えた後で介護保険改定についての勉強会を行いました。



デイの勉強会

今回の改訂は、利用料金の改定とか個別機能訓練加算等の改定があり、その周知徹底方を図りました。

今後も毎月一回は勉強会を開いて職員の知識向上とスキルアップを図って参ります。

学習療法

研究大会に参加

介護員 城本明穂

愛媛学習



療法研究大会に参加させて頂きました。

学習療法は日本だけでなく北米でも取り組まれており、学習療法を通してご利用者の笑顔や喜び、更にはご家族との信頼関係にも寄与すると言われています。キーワードは「可能性の追究を笑顔で！」です。学習療法による前頭前野の活性化は、認知症の予防や進行を抑止すると言われています。また前頭前野の活性化には、料理やマージャン等も頭の体操になるそうです。グループワークでは他施設の職員と交流ができて良い刺激になりました。

エンゼルさんの公演活動

介護員 荒木 文子

芸能ボランティアの大洲アーティストグループエンゼル(代表 長岡正太郎)さんをお迎えして楽しいひとときを過ごしました。

陽春や施設慰問の舞扇

公演は大正琴の「瀬戸の花嫁」演奏から始まり、次々に披露された歌や踊りに利用者さんはおおよろこび：飛び入り参加された利用者さんは華麗なステップ(笑)で踊りの輪にはいられました。

エンディングは出演者全員による炭坑節で盛り上がりしました。「今日は楽しかった！」とおおよろこびでした。



リーダーの
長岡さん

華麗な炭坑節

グループホーム 春の風便り

沖浦観音祭り

介護員 浅田 大平

長浜沖浦の観音祭りが盛大に開催され、近郷近在からの人出で賑わいました。ご利用者の有志も春の陽気に誘われて出掛けられました。祭りのイベントは長浜無形文化財「豊年踊り」や、エキゾチックな衣装での艶やかなサリードダンス、大正琴の演奏に合わせたコミカルな踊りなどが催され利用者さんもお楽しみしました。



豊年踊り

第1回 春の風フェスタ

ご案内

私達は近隣の方々との笑顔のお付き合いをテーマにしています。ぜひお立ち寄り下さいませ。

平成27年7月20日(月)
午後2時半～5時まで

日時

雨天決行

出し物

・長浜高校の
吹奏楽
・頼永さん達の
フラダンス
・玉井さんの
腹話術

バザー

・ジュース
・かき氷
・いりこ飯
・フランクフルト
・焼きそば

その他

・輪投げ
・ヨーヨー釣り

お問い合わせ

グループホーム 春の風

TEL 52-2711(担当徳森)

駐車場 長浜高校グラウンド

3月25日 民生委員さん慰問

所長 徳森 利弘

上須戒地区社会福祉協議会様より上須戒地区出身者に対する慰問をして頂きました。「お久しぶりです」「いやー元気かな」、「家においでた時より元気になった」、「わざわざ来てもらうて本当にうれしいわい、みんな元気にやりよるかい」

昔なじみの民生委員さんらの訪問に顔はほころびお話しは尽きない様子でした。「元気にやりよるけんみんなによろしく言うtotてや、また来てや」

地域の方々のやさしい気配りに、古き良き時代のノスタルジアを感じました。



「元気にやりよるけんみんなによろしく言うtotてや、また来てや」

グループホームはるか便り

介護相談員さんに感謝

所長 西本恵子

大洲市の委託をうけてグループホームはるかの介護相談員を務めて下さった白石栄勇様と泉美佐子様のお2人が、このたび任期を終えて退任されることになりました。



介護員さんを囲んで…

過去10数年の長きに渡り、第3者のな立場で的確なアドバイスやご意見をいただき、地域密着型サービス施設としての役割をしっかりと果たして下さりました。長い間、大変お世話になりました。そしてありがとうございました。

グループホームでの

看取り^{みと}

所長 西本恵子

グループ



ホームは認知症であつても、ある程度の集

団生活ができる人が対象です。

しかし、次第に重度化が進行し自分の思いや痛みが訴えられなくなるなど看取りケアが避けて通れなくなっています。

看取り^{みと}ケアは利用者家族として施設の3者が、それぞれのバランスを整えながら、思いを一つにしたケアの話し合いが重要です。それには信頼が何より大切で、信頼のないところに満足は無いと思います。

当ホームでは既に3名の方を看取りましたが、家族の思いや意向もしっかりと受け留め、ホームドクター（主治医）と連携を取り、その方が終の棲み家として望まれるのならば最後を支えるのが私達の使命だと思っています。

5月26日

八重桜の会の慰問

介護員 中岡 ゆき

八多喜八重桜の会（代表渡辺清美）の芸能ボランティアの皆さんが、歌や踊り三味線、紙芝居、ハーモニカなど多彩な芸を披露して下さいました。圧巻はひょっとこ面^{かぶ}を被って職員や利用者さんとも一緒に踊って下さいました。

八重桜の会の皆さん



利用者さんは口ずさまれたり、身振り手ぶりで答えられおよろこびでした。またのおこしを鶴首しています。ありがとうございました。

家族会総会

介護員 村上 孝子

平成27年度のグループホームはるかの家族会総会を開催して、役員の選出や家族からの要望などが協議されました。

会長 高岡 良一様
副会長 田苗 純司様
監査 山本 純江様
会計 城戸 利教様

利用者のみなさんはご馳走を食べながら、家族との団らんや職員の出し物「ひげダンス」などの一発芸を楽しまれました。

家族会総会



新谷菖蒲園へ しやうぶえん

ドライブ

介護員 谷口 愛弓

利用者さん9名全員で新谷の菖蒲園へ行きました。全員での参加は2、3年振りとのこと、みんなで一緒に集合写真も撮ることが出来ました。紫、白、黄色の色とりどりのお花が咲いており、楽しい時間を過ごせました。奥の川では、鯉がたくさん泳いでおり、エサをあげる利用者の方もおられました。

今後も全員参加できるように利用者さんの体調管理に努めていきたいと思ひます。

6月
7日



新谷の菖蒲園

在宅支援センター春賀便り

在宅改修の代行申請

ケアマネージャー

中岡 越子

「足元が不安定になって転倒が怖い！」と地域の民生委員さんに相談があり、これを受けてご本人宅を訪問して、転倒しそうな場所に「手すり」を付けるお手伝いをしました。



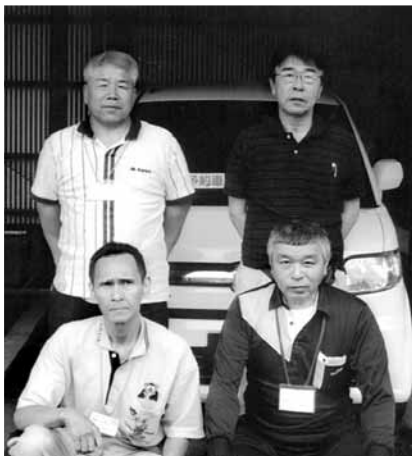
「手すり」を設置しました。

「手すり」ができたことで安心して移動ができるようになったと喜ばれました。

在宅介護支援センターは大洲市の委託を受けて、高齢者の見守り、代行申請などを行っています。お気軽にご相談下さい。

春賀の介護タクシー

今年の5月から鹿川清二氏がメンバーに加わり4名体制で活動しています。よろしくお願いします。



竹田 哲夫

井戸 清隆

後藤 正一

鹿川 清二

ヘルパー会

ヘルパー 祖母井ひろみ

訪問ケアステーション春賀のヘルパー(30名)全員参加の打ち合わせ会を毎月おこなっています。

ご利用者の状況や連絡事項を伝え、意見交換をして情報を共有しています。



ヘルパー会

また、支援現場で生かせるようなテーマを毎回決めて、ヘルパー仲間の自己研鑽に努めています。

今後ご利用者の皆さんがより快適に暮らして頂けるように研鑽に努めます。



老人施設の 選び方

老人施設にはグループホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者住宅などいろいろな施設があり、多様化しています。

いざ「終の住み処」を探そうとしても希望通りの施設を見つけるのは大変です。

早めの情報収集や現地見学など慎重な施設選びが大切です。

施設選びのポイント

- ① 先ず、事業主の経営理念に共感できるかどうかを見極める。
- ② 建物と設備 3…人とサービス 7 の割合で検討する。
- ③ 施設完結型でなく、地域社会との交流はあるか。
- ④ 食事の質にこだわっているか。
- ⑤ 「看取り」や「認知症ケア」に対応できるか。

以上

リレー随想

「市営団地」

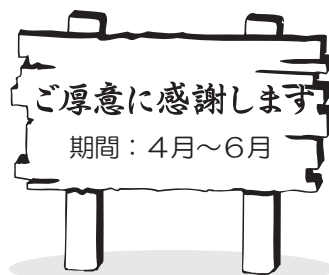
生活支援員 清水 博 美



結婚と同時に私は大洲市民となった。当時新築の市営団地の抽選に当たり住みはじめて 28 年目を迎える。

大洲駅に近いこの団地は二棟で 32 世帯の住民が住む。中庭の公園での井戸端会議だけで終わらず、数件集まっの宴会、子供が小さい頃はよく休みをあわせてキャンプにも行ったものだ。子供達が巣立った今でも、困ったときは助け合い、ストレス発散に盛り上がる。

この 28 年で建物は古くなり狭く感じられるが、ここの居心地の良さが私が大洲で頑張れる要因のひとつかもしれない。



【敬称略】

ボランティア

- 石田悦蔵様 (長浜町)
- 石丸タツ子様 (上須戒)
- 寺田玲子様 (八幡浜市)
- 大野寿子様 (八多喜)
- 谷本一善様 (八多喜)
- 泉美佐子様 (〃)
- 山本静様 (東宇山)
- 井戸スミ子様 (春賀)
- ブランケット様 (春賀)
- 川下会様
- 立正佼成会大洲支部様

【順不同】

ひと言…

編集後記

降り注ぐ梅雨が青葉を揺らし、アジサイの花が手まりのようにふくらんで夏の到来を感じさせる頃となりました。
紫陽花や濡れて深まる
玉の色

植田勝芳

本号は早春から初夏にかけての暮らしの一端を切り取って編集しました。
今回も多くの方々のご投稿を頂いて発刊することができました。
ご協力に感謝します。